

各 位

会 社 名 太平化学製品株式会社

 代表者名 代表取締役社長 門 田 豊  
 (コード番号・4223)

 問合せ先 経営管理部長 坂 田 昌 繁  
 電 話 048 - 222 - 1122

## 業績予想の修正(連結及び個別)及び特別損失の計上に関するお知らせ

平成24年8月2日付で公表いたしました平成25年3月期(平成24年4月1日～平成25年3月31日)の連結並びに個別の業績予想及び特別損失の計上を、下記の通り修正することといたしましたので、お知らせいたします。

記

### I. 業績予想の修正について

#### (1) 連結業績予想数値の修正

平成25年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	2,710	△ 90	△ 100	△ 130	△10.58
今回修正予想 (B)	2,621	△ 158	△ 174	△ 190	△15.50
増 減 額(B)－(A)	△ 88	△ 68	△ 74	△ 60	
増 減 率 (%)	△ 3.3	—	—	—	
(ご参考)前期 第2四半期実績 (平成24年3月期 第2四半期)	3,238	18	△ 13	△ 22	△ 1.84

平成25年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	6,020	70	50	△ 40	△ 3.25
今回修正予想 (B)	5,700	△ 100	△ 120	△ 160	△13.02
増 減 額(B)－(A)	△ 320	△ 170	△ 170	△ 120	
増 減 率 (%)	△ 5.3	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成24年3月期)	6,121	△ 136	△ 150	△ 144	△11.78

## (2) 個別業績予想数値の修正

平成25年3月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

	売上高	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	2,700	△ 100	△ 130	△10.58
今回修正予想 (B)	2,617	△ 176	△ 191	△15.61
増減額(B)－(A)	△ 82	△ 76	△ 61	
増減率 (%)	△ 3.1	—	—	
(ご参考)前期 第2四半期実績 (平成24年3月期 第2四半期)	3,233	△ 13	△ 23	△ 1.89

平成25年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	6,000	50	△ 40	△ 3.25
今回修正予想 (B)	5,680	△ 120	△ 160	△13.02
増減額(B)－(A)	△ 320	△ 170	△ 120	
増減率 (%)	△ 5.3	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成24年3月期)	6,112	△ 151	△ 145	△11.82

## (3) 修正の理由

### 1. 連結業績について

当期業績予想につきましては、主要分野である電機・電子・工業製品分野が低調であったことから需要は減退し、また、欧州の債務危機の影響によりアジア経済も低迷したことや円高の影響により輸出が低調であったことから売上高は88百万円減少しました。コスト面では、人件費を中心に固定費の削減を行いましたが出荷数量減少の影響が大きく、営業損失となり、前回見通しに対して68百万円減少しました。特別損失として見込んでおりました投資有価証券の減損処理は第2四半期末時点の株価の下落により13百万円増加しました。当期利益につきましても前述売上高の減少及び株式市場の低迷が継続することが見込まれるため業績予想を修正するものです。

### 2. 個別業績について

個別業績の修正理由は、連結業績予想と同様であります。

## II. 特別損失の計上及びその内容について

### (1) 投資有価証券評価損

#### 1. 投資有価証券評価損(122百万円)

当社は、「その他有価証券」に区分される保有有価証券のうち、時価あるいは実質価額が著しく下落し、その回復が困難であると認められたものについて、平成25年3月期第1四半期において減損処理による投資有価証券評価損を特別損失として計上する必要が生じ、109百万円を計上いたしました。第2四半期末における株価下落により処理額が13百万円増加し、122百万円計上いたしました。

なお、四半期会計期間末における投資有価証券の減損処理につきましては、四半期洗替え方式を採用しているため、平成25年3月期第3四半期及び平成25年3月期の期末日の時価あるいは実質価額により、特別損失の額が変動する場合があります。

2. 平成 25 年 3 月期 第 2 四半期の投資有価証券評価損の総額

	連結
(A) 平成 25 年 3 月期第 2 四半期の投資有価証券評価損の総額	122 百万円
(B) 平成 24 年 3 月期末の純資産額 (A/B×100)	3,312 百万円 ( 3.7%)
(C) 平成 24 年 3 月期末の経常損失額 (A/C×100)	150 百万円 ( -%)
(D) 平成 24 年 3 月期末の当期純損失額 (A/D×100)	144 百万円 ( -%)

(注) 1. 四半期における投資有価証券の評価方法は、洗替え方式を採用しております。

2. 当社の決算期末は 3 月 31 日であります。

以上